第１次実施計画達成状況（平成 26 年度決算）

１　計画の概要

千葉市新基本計画（計画期間：平成 24 年度～33 年度）に基づき、平成 24 年度からスタートした第１次実施計画では、まちづくりの基礎固めを行う重要な３年間として、財政健全化に最優先で取り組むとともに、10 年後、20 年後を見据え、「まちづくりを支える力を高める」、「行財政改革への取組み」、「未来のまちづくりに向けた投資」、「安全・安心のまちづくり」の４つの視点から取組みを進めて参りました。

このたび、平成 26 年度末で第１次実施計画の計画期間が終了したことから、計画の達成状況を公表します。

２　計画事業の達成状況

第１次実施計画期間終了時点の達成状況は、計画事業数 279 に対し、目標事業量を達成した事業が 146(52.4%)、概ね達成した事業が 34(12.2%)、未達成の事業が 85(30.4%)となっています。

政策区分	計画事業数	進捗状況				
		達成	概ね達成(※)	未達成	休止	中止
１　豊かな緑と水辺を活かした、自然とともに生きるまちへ	41	16	6	18	1	0
２　支えあいがやすらぎを生む、あたたかなまちへ	44	32	3	7	1	1
３　豊かな心が育ち、新たな価値が生まれるまちへ	47	32	2	9	1	3
４　ひと・モノ・情報がつながる、生活基盤の充実した安全で快適なまちへ	112	48	21	39	3	1
５　ひとが集い働く、魅力と活力にあふれるまちへ	35	18	2	12	1	2
合　計 （　）内は%	279	146 (52.4)	34 (12.2)	85 (30.4)	7 (2.5)	7 (2.5)

※定量的に事業量が把握できる場合について、目標事業量の８割以上を達成したもの。
また、複数の取組項目を有する事業については、すべての取組項目の目標事業量を８割以上達成した場合に「概ね達成」となります。

（１）目標事業量を達成ないし概ね達成した主な事業

計画事業名	３か年の計画事業量	３か年の実績
学校施設の安全確保	校舎の耐震補強　77 校	78 校
	屋内運動場の耐震補強　59 校	屋内運動場の耐震補強　58 校 ※小学校１校は入札不調のため 27 年度に繰り越し、工事着手済み。また、中学校 1 校は大規模改造工事にて耐震補強を実施。
	校舎の改築　２校	２校
応急手当の普及	救命講習受講者　24,000 人	38,489 人
	応急手当インストラクターと協働した救命講習　６回/年	34 回/年
	こども救命講習　６回/年	10 回/年
	応急手当の普及協力事業者認定　90 件	166 件
企業立地の促進	立地助成 所有型　５社 所有型本社（大規模）１社 所有型本社（中規模）３社 賃貸型　８社	立地助成 所有型　７社 所有型本社（大規模）１社 所有型本社（中規模）３社 賃貸型　23 社

（２）未達成の主な事業と理由

計画事業名	３か年の計画事業量	３か年の実績	理由・説明
市立病院設備・医療機器の整備	青葉病院 救急棟の整備 整備完了	実施設計・工事	入札不調により、工期に遅れが生じたため。
太陽熱利用給湯システム設置助成の推進	150 件	35 件	助成件数が伸び悩んだため。
歩道の改良	段差解消　764 箇所	363 か所	平成 25,26 年度に通学路の安全対策を緊急的に実施し、計画を見直したため。
	視覚障害者誘導用ﾌﾞﾛｯｸ　35.99km	22.93km	

３　第２次実施計画への反映

平成 27 年度より実施している第２次実施計画（計画期間：平成 27 年度～29 年度）では、第１次実施計画の進捗状況や事業の効果・課題を検証し、緊急性や必要性、未来への投資効果などの総合的な観点から、まちづくりの方向性や施策に貢献する事業を厳選して、計画を作成しています。

例えば、

（１）「学校施設の安全確保」については、耐震化が概ね完了したため、トイレ改修や音楽室等のエアコン整備など学校施設の環境整備や教育の質的向上の取組みを位置づけています。

（２）「企業立地の促進」については、立地の助成件数が計画事業量以上の進捗だったことから、計画事業量を増やして位置づけています。

（３）「太陽熱利用給湯システム設置助成の推進」については、更なる再生可能エネルギー等の導入を促進するため、助成対象を住宅用のほか事業用まで拡大し、位置づけています。